

柱 1-2 市民利用施設に係る手続きの利便性向上

2 年度目標の達成状況

目標	2 年度実績	2 年度目標の評価	3 年度目標(設定・変更等)
<p>① 利用手手続きのオンライン化施設数</p> <p>2 年度 4 施設</p> <p>3 年度 33 施設</p> <p>3 年度以降の目標は、施設特性を踏まえて設定又は見直しを行う。</p>	<p>・利用手続きのオンライン化施設数</p> <p>4 施設</p>	達成	<p>変更なし (理由)</p> <p>予定どおりに取組が進捗しているため。</p>
<p>② 2 年度 予約が必要な市民利用施設の一覧サイトの稼働</p>	<p>・予約が必要な市民利用施設の一覧サイトの稼働準備</p>	未達成	<p>予約が必要な市民利用施設の一覧サイトの稼働 (理由)</p> <p>新型コロナウイルスの対応を優先し、稼働準備にとどまつたが、引き続き取り組んでいく必要があるため。</p>

2 年度取組の実施状況

2 年度の取組内容	2 年度の主な取組実績	課題	3 年度の取組内容(課題に対する対応)
<p>① 施設利用手続きのオンライン化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約等の手続きのオンライン化を行う。 ・各施設の特性を踏まえたオンライン化に向けた目標を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クレオ大阪、区役所附設会館の予約等の手続きのオンライン化に取り組んだ。 ・施設所管所属に検討状況の照会を行うとともに、ヒアリングを行った。 ・各施設の特性を踏まえつつ、オンライン化に向けた目標を設定し、実施計画を策定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の特性等を踏まながら、手続きのオンライン化などの利便性向上に向けた取組を進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の特性に応じた予約等の手続きのオンライン化等を推進する。(通年)
<p>② 利便性向上に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民利用施設を検索できる一覧サイトを作成し、利便性の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用予約を必要とする市民利用施設が検索できる一覧サイトの掲載案を作成するなど、稼働準備を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・市民利用施設を検索できる一覧サイトを作成し、利便性の向上を図る。(通年)

柱1－2 市民利用施設に係る手続きの利便性向上

3年度目標の達成状況

目標	3年度実績	3年度目標の評価	4年度以降目標(設定・変更等)
<p>① 利用手手続きのオンライン化施設数 2年度 4施設 3年度 33施設 ※4年度以降の目標は、施設特性等を踏まえて設定又は見直しを行う。</p>	<p>・34施設 ※区役所附設会館(33施設)、社会情報・研修センター</p>	達成	<p>4年度 実施計画に基づいたオンライン化の推進 ※5年度の目標は、4年度の進捗状況を踏まえて設定 (理由) 各施設のオンライン化目標を設定し、「市民利用施設における予約のオンライン化実施計画」を更新したため。</p>
<p>② 2年度 予約が必要な市民利用施設の一覧サイトの稼働 3年度 予約が必要な市民利用施設の一覧サイトの稼働</p>	<p>・予約が必要な市民利用施設の一覧サイトの稼働</p>	達成	<p>— (理由) 3年度で取組が完了したため</p>

3年度取組の実施状況

3年度の取組内容	3年度の主な取組実績	課題	4年度の取組内容(課題に対する対応)
<p>① 施設利用手続きのオンライン化の推進 ・各施設の特性に応じた予約等の手続きのオンライン化等を推進する。</p>	<p>・区役所附設会館等の予約等の手続きのオンライン化に取り組んだ。 ・施設所管所属に取組推進に係る照会等及び各施設のオンライン化目標の設定に係るヒアリングを実施した。 ・ヒアリング結果や各所属との調整により、各施設の特性を踏まえたオンライン化目標を設定し、実施計画を更新した。</p>	<p>・各施設の特性等を踏まえながら、手続きのオンライン化などの利便性向上に向けた取組を進めていく必要がある。</p>	<p>・実施計画に基づき、各施設の特性に応じた予約等の手続きのオンライン化を推進する。(通年)</p>
<p>② 利便性向上に向けた取組 ・市民利用施設を検索できる一覧サイトを作成し、利便性の向上を図る。</p>	<p>・本市ホームページの「施設情報ページ」について、予約を必要としない市民利用施設も含め、一体的な整理を行い、「くらしの便利帳」に基づく新たなカテゴリで再構築し、利便性の向上を図った。</p>	—	—